

中央アジア・コーカサス地域の各国より 若手医療従事者が来日し、母子保健研修が行われます

中央アジア・コーカサス地域は、旧ソ連からの独立後、経済体制の移行や社会インフラの再構築等の混乱により、医療・保健分野でも多くの問題を抱えており、各国の経済指標と比較して、新生児死亡率や妊産婦死亡率は依然として高く、医療職者の能力開発や人材育成が必要とされています。

本研修は、各国の将来を担う若手医療従事者（小児科医、産科医、看護師、助産師）を対象に、講義や視察等を通して、日本の母子保健制度や実施体制を学び、各国の母子保健分野に貢献することを目的に開講されます。

- 実施主体 独立行政法人国際協力機構 九州センター（JICA 九州）
- 研修受託機関 聖マリア学院大学（久留米市）
- 研修コース名 青年研修 「中央アジア・コーカサス 母子保健実施管理コース」
- 研修期間 2019年11月4日（月）～2019年11月21日（木）
- 研修参加国（6か国・14名） アゼルバイジャン、ジョージア、カザフスタン、キルギス、トルクメニスタン、ウズベキスタン

○取材対象日程・内容等

プログラム	日時	場所
看護学生との交流会 ～カントリーレポート発表～	11月9日（土）／学園祭 11：50～12：30	聖マリア学院大学 5号館 2F 教室
久留米市庁舎表敬 （副市長対応予定）	11月12日（火） 11：00～11：20	久留米市役所 8F 庁議室

- 取材お申込み先 JICA 九州 研修業務課（担当：中野、中岡）
TEL：093-671-8347 FAX：093-671-0979